

10904耐火物製造業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労 働 者 規 模
1	2019	2	9 ～ 10	工場内の耐火レンガ成型部で、10kg程度の金型を腰の高さの台上で奥から手前へずらしてケースにはめる際、右手の親指を挟み、骨折及び切傷等を負った。	59	7	379	10 ～ 29
2	2019	3	1 ～ 2	原綿製造工程で集綿ボックス内の清掃作業中、脚立を広げずに集綿ボックス内の壁に立て掛けて、それを足場にして壁に付着したバインダー汚れ（樹脂の塊）をチゼルを使って除去しようとした。その際、脚立が滑って体勢を崩し、約50cm下に落下して右手を骨折した。当日は、保護具（ヘルメット、眼鏡、マスク、手袋）を着用していた。	62	1	371	50 ～ 99
3	2019	4	12 ～ 13	昼食時に休憩室で従業員同士が仕事上の内容で口論になり、一方の従業員が暴力に及んだ。別の従業員が制止したがエスカレートして、被災者は階段から突き落とされ頬・頸椎・下顎・背中を負傷した。	46	90	911	10 ～ 29
4	2019	7	0 ～ 1	約3か月前に上司から暴力を受けて負傷した件により、不安障害を発症した。	46	90	921	10 ～ 29
5	2019	7	10 ～ 11	工場CIP充填場にて芯棒取り替え作業中、下型のボルト穴に芯棒を取り付けてクレーンで吊り上げたが、ボルトが入りづらかったため1cmほど度浮かせた状態で、手で下型を回転させようとした際、下型が落下して左中指と環指を挟んで骨折した。	41	4	391	100 ～ 299

6	2019	7	9 ～ 10	被災者はランス金型の脱枠作業場所において、作業員からその場を離れるように声掛けをされた。作業員は被災者が離れたと思い、ランス金型を手でひっくり返したところ、被災者の左足首に当たり負傷した。	31	7	521	300 ～ 499
7	2019	9	11 ～ 12	窯炉製造工場にてレンガをパレットから台車に積みつける作業の際、2台目の台車に8.6kgのレンガを積む作業中、腰部を負傷した。	38	19	921	500 ～ 999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで \(2019年\)](#)に戻る。